

# 局 施 策 評 価 票

平成 **21** 年度実施施策

A時点: -	B時点: -	C時点: 22. 7月

<b>局名</b>	<b>産業経済局</b>
-----------	--------------

<b>基本計画</b>	<b>柱</b>	いきいきと働く
	<b>大項目</b>	多様なニーズに対応した人材育成と就業支援の推進
	<b>取組みの方針</b>	多様な人材の育成と確保

<b>担当局 / 総務担当課名</b>	産業経済局	産業政策課
<b>連絡先</b>	582 - 2299	

21年度計画

-3-(1)-

<b>施策名</b>	<b>地域企業のニーズに沿った人材育成・確保の促進</b>
------------	-------------------------------

<b>施策の概要</b>	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	高度な技術や経験を有する即戦力となる人材の確保等を通じ、事業拡大や経営革新を目指す地域企業のニーズに沿った人材の育成・確保を図ります。
	その結果、実現を目指す取組みの方針名	多様な人材の育成と確保

	成果指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)	現状値		計画	平成21年度		目標値	
		年度	平成21年度		年度	平成25年度	年度	平成25年度
<b>施策の成果</b>	U・Iターン就職者数	年度	平成21年度	実績	75 名	年度	平成25年度	目標値
	能力の高い人材を地元企業に結びつけることが、地域企業のニーズに沿った人材の確保につながると考え、U・Iターン就職者数を指標に設定しました。目標値の設定は、平成21年度実績から約5%増の110名と設定しました。	現状値	104名	達成度	104 名	目標値	110名	
					138.7 %			
		年度		計画		年度		
		現状値		実績		目標値		
				達成度	%			
	年度		計画		年度			
	現状値		実績		目標値			
			達成度	%				
<b>コスト</b>	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]			事業費	17,484 千円	構成事業にかかった人件費の目安(21年度)		
				うち一般財源	17,484 千円	5,385 千円		

## 局施策に対する担当局の評価

局施策の評価	21年度評価	主な分析理由
成果指標の結果を踏まえ、構成事業の評価結果なども考慮し評価を行う。	<b>B</b>	U・Iターン就職者数について、平成21年度は計画75名に対して実績104名となり、達成度は138%となりました。平成25年度の最終目標は、平成21年度の5%増と設定しておりますが、最終年度の目標達成に向け、順調な推移だといえます。 施策を構成する事業についても、施策目標達成のため、積極的に事業を推進してきましたが、若年求職者(18~39歳)を対象に、工場見学や就労体験のほか就職活動対策等ととりいれた講座を開催する事業については、平成20年秋以降の世界的な経済危機の影響により、参画企業の確保が困難を極め、平成21年度は実施できませんでした。
<b>今後の局施策の方向性</b>		U・Iターン就職者数は、平成21年度は計画が実績を上回っており、今後も引き続き積極的な推進を図っていきます。また、雇用状況は経済状況の影響を受けやすいため、今後の経済状況を見極めながら、効果的な事業を実施していきます。

【局施策評価】 A:大変良い状況にある B:概ね良い状況にある C:概ね良い状況とまでは言えない D:不十分な状況にある

## 評価担当部署の意見

適切な評価  下記のとおり

目標値の考え方を示すことが必要と考えます。  
就職希望者の地元就職率などを参考数値として活用できないでしょうか。

施策名 地域企業のニーズに沿った人材育成・確保の促進

構成事業名	事業費			事業にかかった 人件費の目安 (21年度)	経費分類 裁量的経費 義務的経費 特別経費(重点) 特別経費(臨時)	今後の方向性			
	C時点[21年度:執行額]					21年度			21年度
モノづくり魅力発見就職対策講座 (重点産業人材育成促進事業)			千円	千円	裁量的経費			イ	
事業費のうち一般財源			千円						
U・Iターン促進事業			17,484 千円	5,385 千円	裁量的経費			ウ	
事業費のうち一般財源			17,484 千円						
			千円	千円					
事業費のうち一般財源			千円						
			千円	千円					
事業費のうち一般財源			千円						
			千円	千円					
事業費のうち一般財源			千円						
			千円	千円					
事業費のうち一般財源			千円						
			千円	千円					
事業費のうち一般財源			千円						
			千円	千円					
事業費のうち一般財源			千円						
			千円	千円					
事業費のうち一般財源			千円						

局施策全体のコスト	21年度	
	事業費	人件費(目安)
	17,484 千円	5,385 千円
施策全体の事業費のうち一般財源	17,484 千円	

局施策の  
21年度評価

**B**

【局施策評価】  
A: 大変良い状況にある  
B: 概ね良い状況にある  
C: 概ね良い状況とまでは言えない  
D: 不十分な状況にある

【事業の今後の方向性】 ア: 事業の見直しを図ることが可能 イ: 休止・廃止を検討 ウ: 現状のまま進めることが適当 エ: 終了

# 事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月

担当局/課	産業経済局	雇用開発課
連絡先	582-2419	

基本計画	柱	いきいきと働く
	大項目	多様なニーズに対応した人材育成と就業支援の推進
	取組みの方針	多様な人材の育成と確保
	主要施策	地域企業のニーズに沿った人材育成・確保の促進

関連計画	
事業期間	平成19年度～
経費区分	裁量的経費

-3-(1)-

事業名	モノづくり魅力発見就職対策講座 (重点産業人材育成促進事業)
-----	-----------------------------------

事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	若年求職者(18～39歳)を対象に、地元モノづくり企業の協力を得て、工場見学や就労体験に加え、社会人としての心構えや就職活動対策等を取り入れた講座を開催し、講座終了後、希望者には採用面接を前提とした就労体験を実施します。地元中小モノづくり企業の人材確保と若年求職者(18～39歳)の就業促進を図ります。			
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	地域企業のニーズに沿った人材育成・確保の促進	成果	

目的実現の為に実施する内容 【手段】	実施工程	当初計画	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由		
		現状	平成20年秋以降の景況悪化により、参画企業の確保が困難となったため、未実施						21年度で終了	
	実施状況	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)							平成21年度	目標
		講座受講生の就職者					計画		年度	
		参画企業及びその他企業への就職者数により、講座目的の達成度を見ることとしました。					実績		内容	
							達成度	%	%	
	コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]					事業費	千円	事業にかかった人件費の目安(21年度)	
							うち一般財源	千円	千円	
	単年度計画	(この欄は単年度計画の進捗状況を確認するための欄です。)								

【事業の実施結果・進捗状況の確認】	
実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。 平成20年秋以降の景況悪化により、参画企業の確保が困難となったため、21年度未実施。

【事業の再検証】			
評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	2	19、20年度の実績では、受講生の概ね4割が参画企業へ就職しており、一定の効果が出ていると考えます。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られるのか、または、同じコストでより高い効果を得られないか。	2	事業の目的に沿った講座を実施し、質を確保するため、低コスト化は困難と考えます。また、就職者数は景況及び参画企業の採用基準に拠るため、効果は未確定要素があります。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	1	参画企業数は景況に大きく左右されるため、企業の採用ニーズが低ければ、実施が困難となり、昨年度は事業実施を見送りました。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なものか、市の関与をなくすることはできないのか。	4	モノづくりは市の基幹産業の一つであるため、本事業終了後も、何らかの施策が必要と考えます。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。 ア:事業の見直しを図ることが可能 イ:休止・廃止を検討 ウ:現状のまま進めることが適当 エ:終了	イ	今後の雇用動向を注視しながら、別途、求人・求職ニーズに応じた講座の実施について検討を進めることとします。

# 事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月

担当局/課	産業経済局	雇用開発課
連絡先	582 - 2419	

基本計画	柱	いきいきと働く
	大項目	多様なニーズに対応した人材育成と就業支援の推進
	取組みの方針	多様な人材の育成と確保
	主要施策	地域企業のニーズに沿った人材育成・確保の促進

関連計画	
事業期間	
経費区分	裁量の経費

-3-(1)-

事業名	U・Iターン促進事業
-----	------------

【事業の概要】	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	市内企業が高度な技術や経験を有する即戦力の人材を確保できるよう、U・Iターン就職の支援を行います。				
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	地域企業のニーズに沿った人材育成・確保の促進	成果		U・Iターン就職者数

【目的実現の為に実施する内容】	実施工程	当初計画	平成21年度 U・Iターン情報提供 U・Iターン相談コーナー開催 都市圏での事業PR 職業紹介の実施	平成22年度 U・Iターン情報提供 U・Iターン相談コーナー開催 都市圏での事業PR 職業紹介の実施	平成23年度 U・Iターン情報提供 U・Iターン相談コーナー開催 都市圏での事業PR 職業紹介の実施	平成24年度 U・Iターン情報提供 U・Iターン相談コーナー開催 都市圏での事業PR 職業紹介の実施	平成25年度 U・Iターン情報提供 U・Iターン相談コーナー開催 都市圏での事業PR 職業紹介の実施	計画変更理由			
		現状	同上	同上	同上	同上	同上				
	実施状況	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)						平成21年度	目標		
		U・Iターン事業登録者数						計画	900 人	年度	平成25年度
		U・Iターン就職希望者(登録者)の平成21年度実績から約10%増の1,000人を設定しました。						実績	919 人	内容	1,000人
						達成度	102.1 %				
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]						事業費	17,484 千円	事業にかかった 人件費の目安(21年度)		
							うち一般財源	17,484 千円	5,385 千円		
単年度計画											

【事業の実施結果・進捗状況の確認】

実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	計画どおりU・Iターン情報提供、U・Iターン相談コーナー開催、都市圏での事業PR、職業紹介を実施しました。事業PRは高速道路交通情報ホームページでのバナー掲載、スターフライヤー機内プログラムへの広告掲載など、広報対象をしぼり、より安価な媒体にて実施しました。
------	-------------------------------------	---

【事業の再検証】

評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4: 高い	3	U・Iターン就職希望者(登録者)と企業とのミスマッチが多く、十分とまでは言えないものの、年間でのU・Iターン就職者は100名と一定の効果は得られています。また、U・Iターンの決定には至っていないケースでも、全国に住むU・Iターン希望者に企業や市政の情報を発信することにより、北九州市との繋がりやU・Iターンを意識させる効果はあると考えます。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか、または、同じコストでより高い効果を得られないか。	3: やや高い	3	これまで、U・Iターン相談コーナーの経費削減、対象を絞ったより効率の良い広報の実施、資料送料の見直しで経費の削減を図ってきました。残るコスト削減の余地は広報費が考えられますが、広報費を削減することはU・Iターン就職希望者(登録者)の減少に直結するため、困難だと考えます。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	2: やや低い	2	事業を休止した場合、U・Iターン就職希望者とその家族には情報不足等U・Iターン就職決定へ障害が発生し、地元企業(特に採用経費を負担するのが厳しい中小企業)は市外から即戦力人材を雇用することが難しくなると思われます。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか、市の関与をなくすることはできないのか。	1: 低い	2	民間が実施した場合は企業から手数料を徴収する仕組みであることから、規模の小さな企業ほど利用し辛いものとなります。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ウ	ア:事業の見直しを図ることが可能 イ:休止・廃止を検討 ウ:現状のまま進めることが適当 エ:終了	U・Iターン就職者は、年間100名と一定の成果が得られていて、市内企業の人材確保にも貢献しています。よって、現状のまま進めることが適当と考えます。